

# 二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

令和5(2023)年9月15日  
国立市立国立第二中学校  
校長 黒田 宏一  
国立市富士見台3-30  
電話 572-2187

## よりよく生きる

校長 黒田 宏一

「猛暑日」という言葉が当たり前のようになった感のある夏季休業日が明けてから3週間が経過し、生徒の皆さんの2学期の学校生活も軌道に乗ってきたように思われます。まだまだ暑い日が続く予想で、当分の間は暑さ対策にも注意しながらの教育活動となりますが、どうぞよろしくお願いたします。

さて、2学期の開始早々、学校公開週間を実施させていただきました。猛暑の中多くの保護者の皆様へ御来校いただき、あらためて感謝申し上げます。その最終日には道徳授業地区公開講座を開催し、本年度は「よりよく生きる」を主題に学年別に教材を設定した道徳の授業と講演会を実施しました。講演会では、令和3年度に特別支援学級A組で指導員として勤務されていた先生に、JICA青年海外協力隊の一員として派遣された西アフリカ・マラウイでの経験や活動について紹介いただきました。講演では、「先入観をもって物事を見てはいけない。」ことや、通勤に使っていた自転車のタイヤがパンクし困っていた時に声をかけ、自分の自転車を貸し出した上に修理までしてくれたマラウイの青年が、先生と友人になりたいからと、その家族とともに食事の準備をし自転車の引き取りを待っていてくれたエピソード等を紹介いただき、最後には、マラウイのことわざを通して「どのような環境であっても、誰もが幸福な生き方を求めている。そのために国などの様々な違いを超え、一人一人とつながることが大切である。」ことを訴えていらっしゃいました。「よりよく生きる」ための大切な視点として生徒も多くのことを学ぶことができました。生徒の振り返りにも、「マラウイの人々の心の温かさに驚きました。日本などの先進国でも人と人とお互いに親切にしあえたら世界が平和になるという考えに共感しました。」「先入観を捨てて1から考えることで生きることの大切さや生の共存の大切さを改めて実感しました。」等と記されており、「よりよく生きること」への多くのヒントを受け取ることができたようです。



ところで、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会は、令和5年3月に「次期教育振興基本計画について」(答申)を発表し、今後の教育政策に関する基本的な方針として「持続可能な社会の作り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げました。ウェルビーイングとは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じ、地域や社会が幸せや豊かさを感じられることと捉え、幸福感、繋がり、利他性、協働性、自己肯定感、自己実現等を育むことを大切にした教育を推進することとしています。一人一人の幸せや生きがいを尊重すること、このことを基盤として地域や社会の幸せや豊かさを創り出し、様々な困難を乗り越え克服しながら持続可能な社会を作る力になると考えます。それは、今回の主題である「よりよく生きる」に通じるはずで

二中では非認知スキル(忍耐力、情緒の安定、社会性等、生活や仕事の場で様々な知識を使ったり他の人と協働したりするときに必要なスキル)を育成することを視点の一つにした授業改善に取り組んでいます。学校生活の中で最も中心となる授業がウェルビーイングの向上につながる要素であり、「よりよく生きる」を育む力になることを願って2学期の教育活動を推進して参ります。9月30日(土)は、本年度2回目の学校公開(3時間授業)を予定しております。そのような視点でも授業を御覧いただければ幸いです。

○ 夏まつりボランティア (7月21日 [金] ~8月6日 [日])

三和会、国立西の会、富士見台3丁目、富士見台4丁目、青柳中央会の5自治会が主催する夏まつりに、延べ、1年生19名、2年生16名、3年生31名、計66名の生徒が、「ボランティア」として参加し、地域の方に感謝されました。参加した生徒の皆さん、ありがとうございました。今後もボランティアの募集があるときには、一人でも多くの生徒に参加していただければと思います。



国立二小 (三和会)



谷保第六公園 (富士見台三丁目)

○ 道徳授業地区公開講座「よりよく生きる」 (9月2日)

① 授業から



1年A組



1年



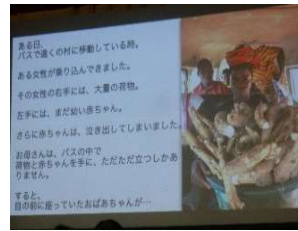
2年



3年

1年生は「教室の場面」の絵から「いじめに当たるのはどれだろう。」と話し合い、いじめに当たる行為を根拠をもって示し、相手の立場や個性を尊重することについて考えました。2年生は、元リトアニア領事代理・杉原千敏氏の「六千人のビザの発行」について、望ましくない状況の中でビザを発行するという決断を下したのはなぜだろうと話し合い、世界の中の日本人として、国際的視野に立ち、世界平和と人類の発展に寄与しようとする心情とはどのようなものかについて考えました。3年生は、小学生の姉弟の事情に同情し入園時間が過ぎていたにもかかわらず、また小学生以下は保護者同伴でなくてはならないという園の規則を破って入園させた動物園の入園係に届いた「姉弟の保護者からの感謝の手紙」と上司から規則を破ったことで受け取った「懲戒の手紙」の2通の手紙について、入園係がどう捉え、自ら退職したのはなぜだろうかと話し合うことで、きまりを遵守する意義について考えることをねらいとして、授業を行いました。今後も、「考え、議論する道徳」の授業に取り組んでいきます。

② 講演会から



一昨年、本校で特別支援学級指導員であった先生をお招きし、青年海外協力隊員としてのマラウイでの体験をもとに、現地の人たちの生活の様子や、そこから得た「よりよく生きる」ことについて講演をしていただきました。遠く離れたところから井戸水を汲んで運び、キッチン、フロア、トイレは同じ場所で水を使う。学校では1クラス200名の生徒を一人の先生が机も椅子もない教室で教え、字は地面に書いて練習する。私たちの日常とは違った生活の様子を聞くことができました。御自身の体験から2つの事例について生徒に問いかけました。職場に行く途中、自転車をパンクさせてしまい通りかかった青年に、「俺が直してやるか？、直しているあいだ、俺の自転車を使っていけよ。」と声をかけられました。青年の家に行き自転車を預けて、彼の自転車で職場に行き、仕事を終え、彼の家に着くと…どうなったでしょうか？、次にある女性がバスに乗り込んできた時のこと。右手には大量の荷物、左手には、まだ、幼い赤ちゃん。赤ちゃんは泣きだしてしまいました。すると、目の前に座っていたおばあちゃんが…どうしたでしょう？。「初めの例では、自転車を修理し、昼ご飯を用意して待っていた。私はあなたの友達になりたかった。次の答えはおばあちゃんが赤ちゃんを抱いた。アフリカでは子供はみんな育てる。これがアフリカの温かい心なのだということ。先入観を捨て、幸せも苦しみもみんな分かち合う(共有する文化)。ここによりよく生きるための秘訣があるように思います。」と語られました。

○ 生徒会役員選挙 (9月11日6校時)

生徒会役員選挙のねらいには、正しい選挙を通じて、民主的形形成者としての基礎を身に付けることがあります。選挙を正しく理解できるよう実際の選挙に近い形で行います。3年生は教室で国立市選挙管理委員会からお借りした「投票箱」を用いて投票を行いました。また、生徒会役員選挙は生徒一人一人が「チーム国立二中」の一員として自分自身にできることは何かを主体的に考える機会でもあります。開票の結果、下記の方が当選しました。新しいリーダーを中心に生徒全員が協力してよりよい「チーム国立二中」にしていきたいと思います。



○ 表彰

◇吹奏楽部 第63回東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞

○ 教職員着任のお知らせ

8月1日産休代替教員として臨時的任用教員、用務主事、8月29日にスマイリースタッフ、別室指導支援員が着任しましたのでお知らせします。

9月の予定	
20(水)	中間考査1日目 (①国語 ②社会 ③理科)
21(木)	中間考査2日目 (①英語 ②数学 ③1年技・家 2年美術 合唱コン練習⑤)
22(金)	(2年) NIE 出前授業⑤ 一斉委員会 (前期最終)
23(土)	秋分の日
25(月)	朝礼 安全指導 中央委員会 (前期最終)
26(火)	一斉委員会 (後期) 二中 STEP (16:00~17:30)
27(水)	S C相談日 二中 STEP (15:00~16:30)
28(木)	中央委員会 (後期) S C相談日
30(土)	土曜公開授業①~③ 学年リハ①13年 ②2年 ③1年
10月の予定	
3(火)	二中 STEP (16:00~17:30)
4(水)	S C相談日 二中 STEP (15:00~16:30)
5(木)	S C相談日
6(金)	第61回合唱コンクール
9(月)	スポーツの日
10(火)	(3年) 第2回復習確認テスト 二中 STEP (16:00~17:30) (全) QU アンケート調査
11(水)	避難訓練 S C相談日 二中 STEP (15:00~16:30)
12(木)	(2年) 人権出張授業⑥ S C相談日
13(金)	(3年) 進路説明会